

第120回(2026年度第2回) 産研テクノサロン

産研テクノサロンは、大阪大学 産業科学研究所と産業界との交流の場として、産研における研究成果を中心とした講演会と意見交換、懇親を図ることを目的として毎回多様なテーマで例会を開催しています。

グローバルビジネスを加速する国際標準化

高市内閣は、新技術立国を目指して、重点17分野の産業を促進するために、方策の一つとして国際標準化を大きく取り上げています。アカデミアとしては、従来は知財出願、国際学会発表、主要論文投稿などが大きな目標でしたが、経産省等としても「国際標準化」の取り組みを重要視するようになりました。大学として有力知財を取得して、グローバル社会実装展開を視野に入れつつスタートアップ企業を創設しても経営がなかなか難しいところがあります。産業科学研究所としましては、この8月に「国際標準化イニシアチブ」を設立して、産研協会「GISHWコンソーシアム」と共に、国際標準化人材育成、グローバル社会実装支援を進めていくことになりました。今回は国際社会で第一線で活躍されている国際標準化の専門家から国際標準化の取り組み事例を紹介していただきます。

【開催日】

2026年9月25日(金) 13:30~16:45 講演会参加費無料

※意見交換会参加費:3,000円 (産研協会テクノサロン会員:無料)

ハイブリッド開催
(阪大産研+ZOOM)

【開催場所】

大阪大学 産業科学研究所 管理棟2階SANKEN CReA(80名まで) + Zoom (90名まで)

【プログラム】

13:30-13:40 開会挨拶 大阪大学 産業科学研究所 戦略室 特任教授 小倉 基次

13:40-14:10 講演①

「国際標準化による産業創成の考え方」

日本認証(株)代表取締役会長、大阪大学 産業科学研究所 新産業創成研究部門

招へい教授 藤田俊弘

14:10-14:40 講演②

「日本発ファインバブル技術の国際標準化と事業創成」

AIST Solutions コーディネート事業本部 連携推進部 コーディネータ、

ISO TC281 委員長 綾 信博

14:40-14:55 休憩・講師との名刺交換会]

14:55-15:25 講演③

「日本発協調安全の国際標準化と事業創成」

セーフティグローバル推進機構 理事、IEC/IECEE認証管理委員会 副議長 梶屋俊幸

15:25-15:55 講演④

「日本発ペプチドシークエンサーの国際標準化構想と、経産省OCEANプロジェクトへの参画」

大阪大学 産業科学研究所副所長 ナノテクノロジーセンター 教授 谷口正輝

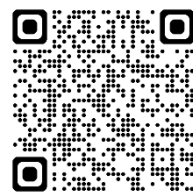
15:55-16:00 閉会挨拶 大阪大学 産業科学研究所 戦略室 特任教授 小倉 基次

16:00-16:45 産業科学研究所 谷口研究室の紹介

17:00-18:30 意見交換会 SANKEN CReA

※参加費:3,000円 / 産研協会テクノサロン会員:無料(企業会員様は1社2名様まで)

申込フォーム(Google) <https://forms.gle/nFvLsCj9AD4xyLoj9>



お申込みは
こちらから！

申し込み・問い合わせ 大阪大学 産業科学研究所 戦略室
(TEL/FAX:06-6879-8448/E-mail:air-office@sanken.osaka-u.ac.jp)

主催:大阪大学 産業科学研究所／一般財団法人大阪大学産業科学研究所協会(阪大産研協会)／
人と知と物質で未来を創るクロスオーバーアライアンス:物質・デバイス領域共同研究拠点

共催:大阪大学 産業科学研究所 産業科学AIセンター /大阪大学 産業科学研究所 同窓会

後援:一般社団法人 日本電気計測器工業会

過去の開催情報など: https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/air/techno_saloon/techno_saloon.html

第120回（2026年度第2回）産研テクノサロン 「グローバルビジネスを加速する国際標準化」



13:40-14:10 講演①

IDEC 特別顧問 Chief Safety, Health and Well-being Officer、
日本認証(株)代表取締役会長、大阪大学 産業科学研究所 招聘教授 藤田俊弘
「国際標準化による産業創成の考え方」

[講演概要]高市内閣により、日本は「新技術立国」を目指す中、国際標準化の重要性が謳われています。大阪大学は、日本の大学初で、国際標準化の推進組織体制を整備しつつあります。ここでは、日本を発展させるためになぜ国際標準化での「大学の取り組み」が重要かについて、約30年間に及ぶ国際標準化による事業創成の失敗や成功体験談に基づき、大阪大学が進むべき道筋の考え方を提言します。



14:10-14:40 講演②

AIST Solutions コーディネート事業本部 コーディネータ
ISO TC281 委員長

綾 信博

「日本発ファインバブル技術の国際標準化と事業創成」

[講演概要]ファインバブル技術は、日本発の技術であり、その応用範囲は広範にわたります。「持続性ある革新目標（SDGs）」の多くの分野で目標達成の原動力になり得るのみならず、個人も含めた究極の豊かさを追及する「Well-Being」にも大きく貢献すると期待されます。革新的技術を基に市場と産業を創成し、健全に大きく発展させるためには、用語の統一と、信頼できるファインバブルの計測技術とが不可欠であり、また、客観的・定量的に効果を示すことが重要です。このために、国際標準化に取り組んできております。



14:55-15:25 講演③

セーフティグローバル推進機構理事,IEC/IECEE認証管理委員会副議長 梶屋俊幸
「日本発協調安全の国際標準化を通じた事業創生への貢献」

[講演概要]少子高齢化や働き方改革に伴うAIやロボティクス技術の職場への導入が加速するなかで、長年培ってきた働く人への安全方策がもはや十分とは言えなくなってきました。このような状況下、セーフティグローバル推進機構では、新たな時代の安全方策として「協調安全」を提唱し、これを幅広く展開すべく日本発の国際標準化を進めることとしました。本講演ではその道筋を紹介するとともに、事業運営の中で効果的に実践するための包括的アプローチの一端を紹介します。



15:25-15:55 講演④

大阪大学 産業科学研究所 副所長, ナノテクノロジーセンター 教授 谷口正輝
「日本発ペプチドシークエンサーの国際標準化構想と、経産省OCEANプロジェクトへの参画」

[講演概要]日本発の革新的技術を世界市場へ届ける鍵は、研究開発と一体で進める国際標準化です。本セミナーでは、DNA、RNA、ペプチドを解析できる国産初の生体分子シークエンサー、特に世界初の1分子ペプチドシークエンサーを題材に、がん免疫療法や個別化医療への展開、知財・標準化・事業戦略を一体化し、世界市場のルールを自らつくるグローバルビジネス戦略と、その実践例を紹介します。

※本企画は、令和8年度「基盤的共同研究開発に関するオープン＆クローズ戦略策定の推進・体制整備強化に向けた実証調査事業（経済産業省）」採択に伴う特別企画として実施されます。